

2017~2018 年度クラブ運営方針
「守・破・離」でますます大発展!

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB



ロータリー:
変化をもたらす

2017 年 (平成 29 年) 9 月 27 日 (水)
第 1349 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会

(西野 勝介副SAA)



●開会点鐘

(小島 弘明会長)

●ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

●本日のお客様

多摩中グループ ガバナー補佐
村上 隆秀様 (東京国立ロータリークラブ)

多摩中グループ グループ幹事
山崎 義晴様 (東京国立ロータリークラブ)



北川 穰一様
(東京昭島ロータリークラブ)

●ご挨拶 (多摩中グループガバナー補佐村上 隆秀様)



皆様、こんばんは。本日はクラブ協議会ということでお邪魔をいたしました。各クラブを回りまして、ちょうど 10 クラブ目のクラブ協議会に参加をさせていただきます。私はロータリークラブ歴が 20 年くらいになりますが、このように各クラブの協議会に参加するのは初めてのことで、大変勉強をさせていただいております。本日もよろしくお願いたします。

●会務報告

(小島 弘明会長)



9 月 21 日 (木) フォレスト・イン昭和館にて、「昭和の森芸術文化振興会第 100 回事務局会議」が開催され、岡野景子会員に参加をさせていただきました。

9 月 26 日 (火) 京王プラザホテル東京にて、「東京三鷹ロータリークラブ 創立 50 周年記念式典」が行われ、星野会員、浅見会員、荒川会員、今藤会員、岡野景子会員、佐々木会員、中野会員、西野会員、久田会員、本田会員、渡邊会員と会長、幹事で出席をいたしました。

今日はたくさんの方が出席をして、先週とは雰囲気が変わりました。昨日も三鷹の記念式典に皆さんで参加をして、他クラブのメンバーとも交流をして、色々な友達もできますし、楽しく過ごすことができました。これからもまだ地区大会など行事がございますので、是非皆様も参加をしていただきロータリーについて勉強をしていただきたいと思います。基本がわかれば、人生もロータリーライフも、もっと充実をしたいと思います。大先輩方とお酒を酌み交わせる集まりなどにも、是非参加をしていただければと思います。

●幹事報告

(石岡 孝光幹事)



国際ロータリー第 3481 地区(台北)より姉妹地区提携についての要請が、当地区にきております。10 月 13 日までに当クラブの意見を提出しますので、資料をご覧になっていただき、何かご意見があれば幹事までお願いいたします。皆さんの意見を吸い上げまして、報告をさせていただきます。

ロータリー米山記念奨学会より「財団設立 50 周年記念」の DVD が届いております。事務局に置いておきますので、ご覧になりたい方はお声掛けください。

●クラブ協議会

「東京昭島中央ロータリークラブが さらに活性化するためには」

主旨説明（小島 弘明会長）

クラブの活性化について、テーブルディスカッション方式で話し合いをしていただきます。最後に班長がまとめて、2分くらいで報告をしていただきます。私達はその意見を吸い上げて、クラブ独自のロータリーライフ、楽しく意義深い集まりができるようなクラブにしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

C テーブル（中野 勝夫会員）



まずはやはり、出席率の向上が大事だということです。出席委員長さんが、色々頑張ってやっていただいておりますが、IMに出席をすればメイクになるとか、何に出席すればメイクになるのかがあまり知られていないのではないかとこの意見がありました。

それから、卓話について、プログラム委員会に関係することですが、魅力ある卓話をやっていただければ良いのではないかとこの意見がありました。それから、月間のテーマに沿って組み立てながら、やっていただければと良いのではないかとこの意見がありました。

例会のマンネリ化という話も出ました。炉辺会議を月1回くらいこのような会場で、各委員会でやってはどうかということです。

B テーブル（岡野 和弘会員）



大きく分けまして、奉仕、親睦、組織の3点についてお話いたします。

奉仕についてですが、以前、西野会員宅の前の川で、清掃活動をして、その結果、ホテルが見られるようになったそうです。奉仕活動の成果が、はっきり表れるかたちとなりました。

そのような地域に目立つような活動で、PRをしていき、会員同士の結び付きを深めるという意見がでております。

親睦につきましては、お酒が良いのではないかとこのことです。お酒は素が見えますし、仲間意識も持つことができるからです。例会後にお酒を飲んだりして親睦を深めていくことが良いのではないかとこのことです。

組織についてですが、若い会員の意見を吸い上げていくような組織でなければ、衰退していくのではないかとこの意見がありました。

E テーブル（指田 裕士会員）



C テーブルの方と重なりますが、やはり出席率の向上が1番大事だという話になりました。出席率を上げるためには、興味を引くプログラムを作る、お酒の入った例会をするという意見がありました。

それから、クラブが行う事業を毎年同じものではなく、もっと考えようということでした。委員会も炉辺会議を行い、委員

長が先頭となって親睦を深めて理解しあっていくようなかたちが良いのではないかとこの意見がありました。

それから、新会員が多いので、ロータリーに関する勉強会を行い、より理解を深めれば、より良いロータリー活動ができるのではないかとこの意見がありました。

これは良いアイデアだと思ったのですが、30周年に向けて、「100パーセント出席例会」を作ると決めておくのはどうかということでした。

D テーブル（荒川 義昭会員）



先ずは、入会して間もないが、今の気持ちはマックスに楽しいという意見がございました。色々な会員と知り合うことが楽しく、コミュニケーションが取れる例会をこれからも増やしてほしいということでした。

それから、異業種の集まりなので、色々な情報があることによって、自分のスキルアップになると思う。それにはやはり、出席することが大事だと思うということでした。

「四つのテスト」を基本に考えていき、ロータリーソング「それでこそロータリー」のようなロータリー活動ができれば、楽しいと思えるのではないかとこの意見がありました。

A テーブル（渡邊 信義会員）



大きく分けると、クラブを活性化するには、増強して会員を増やすということと、その大勢になった会員が、皆さん出席をすることが大事だということでした。

具体的には、会員の皆さんそれぞれが、良いクラブだなと実感したならば、自分の知り合いを1人

入会させるということが増強を図っていくべきだということでした。

出席をさせるためには、プログラムを充実させることが大事で、その1つとして、会員に卓話をお願いして話を聞き、知ることによって今後の付き合いが広がる部分があるのではないかと思います。

お互いにもっと知り合うためには、各委員会での炉辺を活発に行うことが重要であると思っております。

講評（多摩中グループガバナー補佐 村上 隆秀様）

こうして、班に分かれて、代表者が意見をまとめるというのは、1人1人の意見がかなり吸い上げられて、良い結論が出るのではないかと感じました。

ロータリークラブは奉仕団体でありながら、クラブ皆が仲良くなければ、奉仕もできませんので、頑張っていたきたいと思います。

●ニコニコ BOX 発表 (柴田 智幸親睦委員)



○北川 穰一様 (東京昭島ロータリークラブ)
市長在任中は、大変お世話になりました。今日は、初めて、メイキャップをさせていただきます。

◎小島会長
ガバナー補佐、グループ幹事の来訪ありがとうございます。クラブ協議会、よろしくお願いします。

◎伊藤会員
クラブ協議会を祝し、そして先週の例会を欠席し申し訳ありませんでした。

◎久田会員
昨日は、三鷹ロータリー50周年パーティー 会長はじめ、ごくろう様でした。

○石岡幹事
村上ガバナー補佐、山崎グループ幹事、ご来訪ありがとうございます。クラブ協議会よろしく申し上げます。

○佐々木会員
村上ガバナー補佐、山崎グループ幹事、ご来訪ありがとうございます。

○下田会員
村上ガバナー補佐、山崎グループ幹事、ようこそ！

・西野会員
村上ガバナー補佐、山崎グループ幹事のご来訪に感謝。

●出席報告 (中澤 紀之出席委員)



会員数 47名

出席義務会員 46名

本日の出席 34名

(メイクによる出席者数を除く)

●次週例会予定 (田畑 勝久プログラム委員)



10月4日(水)

「暑気払い移動例会」
立川 良銀にて

●閉会点鐘 (小島 弘明会長)